

環境経営の強化をめざして

グループ環境課題解決に向けた 今年度の重点テーマ

シチズングループでは、グローバルな視点による環境経営の強化をめざした「シチズングループ環境中期計画2018」に基づいて、エコアクション100と呼ばれる活動プランを策定し、中期目標の実現に向けた活動を推進しています。2014年度は、「環境経営の推進」「化学物質のリスク削減」「エコを切り口にしたブランド価値向上」「環境コミュニケーションの推進」「温室効果ガスの削減」「廃棄物の削減」「環境社会貢献活動の拡大」を重点課題として取り組んでいます。



環境経営の推進	ガバナンスを強化し効率的で実効性の高い環境活動を推進するために、グループ全体で一つのシステムとするISO14001「グループ統一認証」体制へ移行します。
化学物質のリスク削減	生産拠点におけるPRTR対象物質の削減を推進し、製品含有化学物質ではJAMP※が推進する管理対象基準を取り入れ、グローバルな法規制へ対応していきます。
エコを切り口にしたブランド価値向上／ 環境コミュニケーションの推進	省電力技術を活かした環境配慮型製品を、お客様に安心して選んでいただけるよう、市場との環境コミュニケーションを推進し、新たなブランド価値を創造していきます。
温室効果ガスの削減	製品のライフサイクルにおける温室効果ガスの排出量を適切に把握し、温室効果ガスの削減に努めていきます。
廃棄物の削減	ISO14001のグループ統一認証を機に、各事業所における廃棄物管理をグループ全体で再検証し、廃棄物の抑制をめざします。
環境社会貢献活動の拡大	各事業所における地域に根差した社会貢献活動に加え、生物多様性に与える事業の影響を把握し、これを保全する活動に取り組んでいきます。

※ JAMP：アーティクルマネジメント推進協議会。サプライチェーンを通じた含有化学物質情報の共有を推進する業界を超えた団体

環境マネジメント室から

環境マネジメント室は、シチズングループの環境活動を推進するための事務局として機能するだけでなく、グループ各社から「頼れるエキスパート集団」となることをめざしています。国内外の生産拠点における環境規制や製品における含有化学物質管理規制は、近年ますます厳しさを増し、その対応が求められています。ひとたび環境事故が起これしまうと、お客様にご迷惑をおかけするだけでなく、企業の信頼と

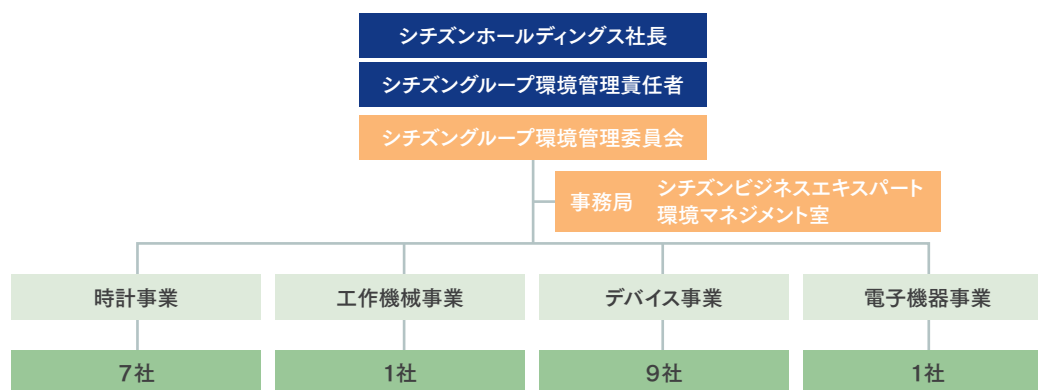
ブランドの価値が大きく失墜します。日々、変化する情勢に適応するために、情報の収集とその対応には細心の注意を払っています。そして、守るだけでなく一歩前へ進める環境活動で、より安心・安全な製品を世に送り出すとともに、人々が心豊かに暮らしていける持続可能な社会実現に向け、貢献したいと考えています。

具体的な取り組み

環境経営の推進

グループのガバナンスを強化し効率的で実効性の高い環境経営を推進するために、ISO14001「グループ統一認証」体制へ移行します。第1ステップとして2013年12月に「グループ環境マニュアル」を発行し、このマニュアルに基づいた活動を開始しました。これまでは「グループ環境マニュアル」に基づく二次文書は各サイトで独自に設定されていましたが、これをグループ統一のものとし、システムのスリム化を図ります。また、国内のグループ会社から内部監査員を選出して、「グループ内部環境監査」を実施したことにより相互に研鑽が図られ、グループの「強み」、「弱み」がはっきりしてきました。今後は、2015年に予定されているISO14001の改訂やグローバル展開を視野に入れながら、環境管理活動を強化していきます。

シチズングループ統一認証体制図



化学物質のリスク削減～製品含有化学物質管理

製品に含有された化学物質による中毒やアレルギーが発生するリスクを削減し、人々が安心して使用できるよう、また廃棄された後も土壌や水源を汚染する環境への負荷が最小限になるよう、世界各国で適切な製品含有化学物質管理を求める規制が強化されています。シチズングループでも年々増え続ける膨大な管理対象化学物質の含有有無を、より確実に把握するために、2014年4月に調達品に関する「シチズングループグリーン調達基準書」を改訂しました。新しい調達基準では、JAMPが推進する情報共有の仕組みを採用し、サプライチェーンを通じた材料や部品レベルでの含有化学物質情報の共有化を進めています。

エコを切り口にしてブランド価値向上～エコプロダクツ2013 出展

日本最大級の環境関連イベント「エコプロダクツ2013」に、シチズン時計も光発電ウオッチ「エコ・ドライブ」を出展しました。白を基調としたブースは、再生可能エネルギーの代表である「光」を意識してのもの。「美しい未来へつながる感性豊かな生活」を持続可能な社会の理想の姿としてとらえ、それに向かってチャレンジしていくシチズン時計の決意とこだわりを、6つの新しいモデルに込めてアピールしました。環境に配慮しつつも、機能や性能、美しさ、楽しさに妥協を許さない姿勢は、期間中にブースを訪れた7,500名もの方々に、驚きと称賛をもって受け入れられました。これからもエコにこだわるシチズン時計の技術と美への追究は、新しい価値を創造していくと確信しています。

